

書に親しみ、そして楽しもう

産経ジュニア書道コンクールは全国の幼・小・中・高校生を対象に、書写、書道の普及・発展を目的に開催しています。
この書道展を通じて青少年の皆さんが日本の伝統文化に触れ、親しむことで「健全な心」を養ってほしいと願っております。

平成元年(1989年)に第1回全国書初め展として始まった「産経ジュニア書道コンクール」は今回で28回目を迎えました。幼稚園生から高校生まで日本全国、海外からご応募いただいた作品は9000点の大会を超えました。6月27日(火)に厳正な審査会を行い、中学生以下の部は文部科学大臣賞に始まる特別賞から佳作まで、高校生の部は、産経新聞社賞ほかの特別賞から入選までが決定しました。
この産経新聞ジュニア書道コンクール特別版では、A部門(中学生以下：半切1/4、高校生：半切)、B部門(半紙)ごとの特別賞の作品、氏名、中学生以下の推薦、特選受賞者、高校生の秀逸賞受賞者の氏名を掲載します。平成30年のジュニア展の募集要項は11月にできる予定です。公式サイト(www.sankei-shokai.jp)、事務局(☎03・3275・8902)などでご確認のうえ、ふるってご参加下さい。

書は心を正しくし、未来へ生き続ける



審査長 高橋 照弘

2017年の産経ジュニア書道コンクールを開催します。ジュニア展には全国の小学校、中学校、高等学校並びに書道塾の書道指導者の先生、そして出品者の保護者から力強いご支援と協力をいただき、産経新聞社、ジュニア関係者一同厚く御礼申し上げます。
現在、書道界を取り巻く環境は厳しいものがあります。要因としては、電子機器の急速的な普及が、文字を書くことを遠ざけていること、書を学ぶ人の高齢化、若い人の書への関心が薄くなっていくことが挙げられます。そんななか、本展は出品総数9322点、昨年度に比べて836点の増となりました。目標の1万点越えは目前に迫ってきています。
審査は制限時間のある公平厳格に行われ、本紙上の発表となり、本年の審査を総括すると、特に深く印象に残る、突出した作品はありませんでした。その代り、良き練習を積んだ作品が多く、実力がハイレベルで抵抗していたといえまこと。中学生以下の部は、書道の約束ごとをよく守って書いていました。小学生は元気な生き生きとした力強く、中学生は文字の均整美への意識、憧れをもって、自分の個性を生かして書いていました。高校生の部は古典

臨書作品が多く占めました。中国の紀元前殷・周時代から近代、日本では三筆五跡、平安かな、一字書、現代文など幅広いジャンルからの出品となり、日本書道の多種多様な面をみせていました。臨書は、書体の特徴、書法、法帖の背景などがよく理解されています。これは書の学習の基礎です。こうした真摯な学習姿勢は書道鑑賞の基礎作りとなり、書の将来を大いに期待できるものと感ぜられます。高校生の部は、この数年出品数が急増し、しかも質の高い作品が出品され、入賞は狭き門となっています。
言葉は目に見えませんが、それゆえ心に響くのです。見えない力を形にしたのが文字です。文字には人の心が宿っています。書は心を正しくし、美しい文字となって人に伝わり、そして未来へ生き続けていきます。書くことの表現の楽しさ、伝えることの喜びを全身で感じる事ができる書は、素晴らしい世界なのです。皆さんは本展出品により、それを実感していることと思います。先生の指導のもと、さらに書写書道の学びを進め、豊かな心を養うことができるよう願っています。また会場でご会えることを楽しみにしています。
本年は、産経国際書展と同時開催です。日本を代表する書家の本格的な書作品を展示しています。ぜひジュニア展と一緒にご覧になり、今後の研鑽に役立ててください。

ジュニア展出品数の推移	
年	出品数
2011	5,555
12	6,668
13	7,026
14	7,751
15	7,500
16	8,486
17	9,322

中学生以下 A部門

文部科学大臣賞



至誠動天地

弘前大学教育学部附属中3年 工藤 加帆 青森
この度は、名譽ある賞をいただいたこと、大変嬉しく思います。作品に見合うよう、純粹に誠実な気持ちで取り組みました。これからも精進していきます。

ジュニア大賞



龍池望五雲

那須塩原市立西那須野中3年 印南 遥 栃木
私が作品を仕上げたあたって、一番苦労したことは全体のバランスです。たくさん練習を重ね、自分なりに納得のいく作品が出来ました。本にありがたうございました。

東京都知事賞



佳気満高堂

東京女子館中3年 木村 佳鈴(東京)
この度は素晴らしい賞を頂き大変光栄に思っています。中3になり、学業との両立が段々難しくなってきましたが、少しでも筆を取る努力をし、精進していきたいです。

埼玉県知事賞



夏の星座

富士見市立水谷小6年 川田 茉侖 埼玉
今回のような素晴らしい賞を頂く出来て、とてもうれしく思います。全体の字形と、星座、という字の中心に気を付けて書きました。今後も書道を頑張りたいです。

千葉県知事賞



銀河流星

千葉市立泉谷中1年 坪井 涼(千葉)
今回、このような大きな賞を頂いたのは初めてのことで、大変嬉しく思います。教えて下さった先生への感謝の気持ちを忘れず、これからも書き続けていきたいです。

神奈川県知事賞



佳気満高堂

川崎市立玉川中3年 中西 紀乃(神奈川)
この度は、思いがけず素晴らしい賞を頂き感謝です。先生の温かい指導と、継続は力なり、をしっかりと感じています。これからも、この気持ちを大切に将来に向けて頑張ります。

産経新聞社賞



自然の美

岩手大学教育学部附属小6年 越前 はな乃 岩手
この度は、素晴らしい賞をいただき、先生も私も家族もうれしい気持ちでいっぱいです。「自分が納得できる字を楽しくながら書くこと」を大切に、書道を続けていきます。



花随四時

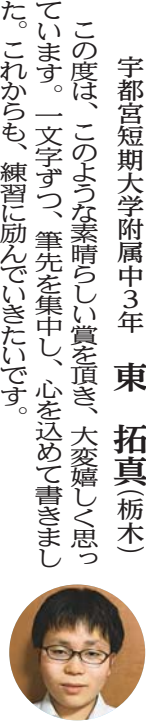
仙台市立南中山中1年 宮林 茉穂(宮城)
この度は、このような素晴らしい賞を取らせて頂くことが出来た。支えてくれた家族、指導して下さった先生に感謝し、これからも上を目指して頑張ります。

産経国際書会理事長賞



雄大な自然

川口市立西中3年 宇都野 茉央 埼玉
この度は素晴らしい賞を頂き、とても嬉しく思います。自分で課題を定めたので、気持ちを込めて書くことができました。これからも、日々の練習に励んでいきます。



佳気満高堂

宇都宮短期大学附属中3年 東 拓真(栃木)
この度は、このような素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思っています。「一文字ずつ、筆先を集中し、心を込めて書きまじた。これからの、練習に励んでいきたいです。

産経子どもニュース



産経新聞写真ニュースでは、産経子どもニュース「育て!子どもたち」を媒介として、各種キャンペーン活動をみなさまの協力のもと全国で展開しています。教育現場や地域社会への写真ニュースの掲示を通じて、豊かで潤いのある社会の創造に貢献し、次代を担う子どもたちを、皆様と共に育てていきたいと願っています。

◆媒体概要◆
【創刊】昭和54年6月18日
【発行日】毎週木曜日、第三種郵便にて送付
【仕様】B4判・オールカラー・4シート1セット
で発行(41週/年間164枚)【送付先】全国の小学校・中学校
【掲示方法】校舎内の掲示コーナーや図書室等に、専用の掲示板を設置し、そこへ学校の担当教諭や担当委員会の児童生徒が、掲示します。掲示期間は1週間、掲示後は専用ファイルへ綴じ、図書室等へ保管していただきます。

学校から“感謝の声”が
続々と届いています!!

協賛のお申込み・お問い合わせは産経新聞写真ニュース事業部まで
◆本 社/〒101-0054 東京都千代田区神田小川町1-1 TEL.03(5259)8810
◆大阪支社/〒564-0027 大阪府吹田市朝日町5-8 TEL.06(4860)6171
◆仙台支局/〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-14-18 TEL.022(261)6301
◆名古屋支局/〒460-0014 名古屋市中区富士見町13-19-705 TEL.052(323)6271

個人協賛者様も大歓迎!!

～想い出の母校に メッセージを～

産経子どもニュース「育て!子どもたち」では、キャンペーンに協賛していただける企業様はもちろんだこと、個人の皆様にも協賛を募っています。あなた様のお名前、1年間、母校や、ご指定された小学校あるいは中学校に「育て!子どもたち」を寄贈いたします。

メッセージ 提供:(ご寄贈主名)

◆協賛金/1校・1年間 85,000円(税別)
掲示用パネル・保存用ファイル付

●「育て!子どもたち」は、下記ホームページでもご覧になれます。
学習の副教材や写真ライブラリーとしてもご利用いただける内容です。

<http://www.sankeikids.com>

多彩なテーマ ◆学校便り ◆動物の親子・赤ちゃん
◆キャンペーン紙面 ◆ビジュアル社会科 他